

「水辺の生きもの調査の現地研修会」を開催しました！

■こどもによる水辺の生きもの調査の実施に向け、指導者を対象に現地研修会を開催しました！

【概要】

令和7年9月9日(火)に環境省主催で「水辺の生きもの調査の現地研修会」を開催しました。

本研修会は、こどもによる水辺の生きもの調査の実施に向けた指導者を対象とし、フィールドでの実習と講義の2部構成で開催しました。フィールド実習では、東京都東久留米市を流れる落合川において、生物採捕や生物同定・評価等に関する実習を実施しました。講義では屋内へ移動し、水辺の生きもの調査の実施に際して必要となる事前準備や当日作業、安全対策等に関する講義及び本研修会に関する意見交換を行いました。

【フィールド実習】

- ・フィールド実習の目的を事務局から説明するとともに、講師を担当いただいた新河岸水系水環境連絡会の菅谷氏等より落合川について紹介いただきました。
- ・実習では、講義でも講師をしていただく東京学芸大学の吉富先生、菅谷氏、事務局等からの説明を行い、透視度計やCODパックテストを用いた水質調査、スーパーボールを使った流速測定、水位計を用いた水深測定を行いました。また、生物調査として、講師とともに参加者もガサガサ調査を行い、採集した生物の同定、観察等を体験しました。

【講義】

- ・水辺の生きもの調査を実施するにあたって必要となる事前準備、当日作業、安全対策等について、講師を担当いただいた吉富先生、川に学ぶ体験活動協議会の佐藤氏や新河岸水系水環境連絡会の菅谷氏から講義いただきました。
- ・講義を踏まえ、今回の研修会の改善点や、今後のご自身の活動に生かせる点について講師・参加者の方々との意見交換を行いました。



生物採集の様子



生物同定の様子



講義の様子



集合写真